

中学校給食の実施を求める要望書

高知市長 岡崎 誠也 様

平和と生活を守る高知市民の会
会長 山本 正博

学校給食法第4条には、「義務教育諸学校の設置者は、当該義務教育諸学校において学校給食が実施されるように努めなければならない」と定められていますが、高知市の中学校の完全給食は生徒数で約18%（19中学校中6校、介良、大津、城東、行川、鏡、土佐山）しか実施されていません。

四国の他の県庁所在地では中学校給食は100%実施されており、県内でも多くの自治体が実施しています。高知市も他自治体並みの当たり前の水準に、できるだけ早く引き上げていくことが求められています。

学校給食の意義は、

- ・教育の一環として、豊かな人間性を育む食育を推進し、生きる力と学力向上の基礎となる
- ・貧困と所得格差が広がる中、どの子にも等しく発達を保障する
- ・栄養バランスのとれた安全な食を成長期の子どもに提供する
- ・食材の地産地消や施設整備などを通じ地域経済に貢献する
- ・災害時には調理場を炊き出し施設として活用できる

など、様々な役割が期待されています。

特に子育てにかかる費用の経済的負担は大きく、就学援助率をみても現在、中学校が38.92%、小学校が29.36%（H24年度）と増加傾向で、子育て支援や教育支援は急務です。また、市が今年行った「高知市立中学校の昼食に関するアンケート」でも9割もの保護者が中学校給食の実施を求めており、中学校の完全給食の重要性・必要性は高まっています。

よって、高知市に対し、以下の事項の実現を要望いたします。

記

【要望事項】 高知市のすべての中学校で給食を実施すること。

以上

氏名	住所

取り扱い団体（ ）